

作る

大きく広げよう住民協力隊

【産業・建設・観光】

1. 高山よいとこなブランドづくり隊

☆ 高山ブランドづくり事業

- 販売ルートの発掘
- 特産物を使った新商品の開発
- 耕作放棄地の有効利用



2. 高山よいとこのこし隊

☆ 全員参加の秋祭り事業

☆ 盆踊りを盛り上げ事業

- 伝統文化の継承

☆ 大早津石灰窯活用事業

- 石灰窯の再発見



3. 高山よいとこ^き季^みて味てもらい隊

☆ 高山マップ作成事業

- たかやまマップの作成

☆ 高山郷土料理発信事業

- 郷土料理の発信

☆ 歩道整備事業

☆ 夕日の美える田舎リゾート体験事業

- 海と夕日の美える田舎リゾート

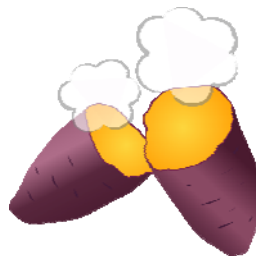
- たかやま自然体験



高山夢ビジョン 実施計画書

様式

部会名	産業・建設・観光	テーマ	作る	大きく広げよう住民協力隊
推進項目	1. 高山よいとこなブランドづくり隊			
事業名	1-1高山ブランドづくり事業			
内容	<p>【意図・目的】 地域の高齢者や農家の農閑期の余剰労働力を活かして、耕作放棄地の増加を防ぎ有効利用するために、地域で戦略作物の生産態勢をつくり、併せて加工などの手を加えて商品を完成させ、販売ルートを確認していく。商品販売よりもまず、地域を売り込むことを行いその流れに商品を載せて商品のブランド化を図る。</p> <p>【手段・方法】 ※ 戦略作物については、現在のところ「ムテンカ」(濃厚なミカンジュース) 甘草薩摩芋 を想定している。</p> <p>農協や果樹同志会・生活改善グループ・シーサイドサンパーク(株)との話し合いを行い、事業実施についての協力をしてもらう。その協力の内容については、戦略作物の生産であったり、売り出しの場合の売り子役等とし、高山の地域をあげての協力態勢での取り組みとする。</p> <p>○「みかん」「ムテンカ」の販売方法について地域をあげて取り組む。</p> <p>高山の創生館で加工されている「ムテンカ」について、高山よいとこな会のラベルを作成し、糖度14度以上のジュースにラベルを張って高山地区を代表するブランドとして地区をあげて売り込みを行う。また、インターネットなどを通して地域出身者に呼びかけ、贈答用として利用してもらい地域全体の収入増につなげるようにする。</p> <p>○甘草の試験生産へ取り組む</p> <p>漢方薬に広範囲にわたって用いられている生薬で、現在輸入に頼っているため国産のものが不足している状況にあるため、産業として成り立つものになるか、試験栽培に取り組んでみる。</p> <p>○薩摩芋の生産へ取り組む。</p> <p>高齢者が作業に参加できる内容の作物が望ましい為、農作業の合間に手入れできることを選定条件として、薩摩芋を栽培していく。生産した芋については、灰屋芋演販売での利用や、焼酎への加工を検討する。</p>			
実施目標年度	平成23年度～平成26年度			
摘要	初年度は、補助事業により実施するが、2年目以降は商業ベースの考え方とする。			



高山夢ビジョン 実施計画書

様式

部会名	産業・建設・観光	テーマ	作る	大きく広げよう住民協力隊
推進項目	2. 高山よいとこのこし隊			
事業名	2-1 全員参加の秋祭り事業			
内容	<p>【意図・目的】 神輿の担ぎ手やお練りの参加者が減少するなか、地域出身者や地元のお年寄りにもお祭りに参加してもらい住民全員で盛りあがる祭りにし、伝承していく。</p> <p>【手段・方法】 高山地区、秋の大祭は地方祭には珍しく三日間に及ぶ。都市部からの参加者や地域出身者の多くの人に知ってもらうため、お祭りの写真コンクールを実施して、グランプリ作品についてはポスターの作成を行い、近隣の町や都市部にもPRを行う。また、贈答用のみかん箱に入れるパンフレットの作成をあわせて行う。来ていただいたら満足できる祭りで、まずは一度参加してもらう。また牛鬼・神輿の担ぎ手参加の呼びかけや見物客の増加を図る。</p> <p>お祭りの練り行事についても、お浜出、お立ちなど少子化により近年参加者が減り、御弓や御鉄砲などの人員が不足している。そのため、氏子総代会と連携をとり、祭り参加に意欲のある住民に対して参加を呼びかけて、お年寄りも楽しめる全員参加のお祭りにする。</p>			
実施目標年度	平成23年度～			
摘要	・練りの参加者の募り方 ・指導者及び後継者の育成方法 祭りに対して想いのある市外からの参加者を歓迎する。			



高山夢ビジョン 実施計画書



様式

部会名	産業・建設・観光	テーマ	作る	大きく広げよう住民協力隊
推進項目	2. 高山よいとこのこし隊			
事業名	2-2盆踊りを盛りあげ事業			
内容	<p>【意図・目的】 盆踊りは、レコード踊りから太鼓踊りに切り替わると、毎年一気に踊り手が少なくなり、見どころの太鼓踊りの踊り手を増やして盆踊りを盛りあげる。</p> <p>【手段・方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初盆の家庭など、供養盆踊りをにぎやかになるように呼びかける。(オリジナル踊りなど、子どもが一緒参加できる踊りでよい。) ・地区役員と連携をとり、地域の職場や団体に盆踊りへの参加をお願いして、仮装踊りなどを行う。 ・盆踊りの練習は本番会場の農協前広場で口説きや太鼓で、リハーサルを行う。 ・男性参加者を増やすため盆踊り部会を結成して、お面などをかぶり太鼓踊りを盛りあげる。 ・夜市を出して盛り上げる。 			
実施目標年度	平成23年度～			
摘要	・呼びかけ先 ・男性参加者の増やし方			



高山夢ビジョン 実施計画書

様式

部会名	産業・建設・観光	テーマ	作る	大きく広げよう住民協力隊
推進項目	2. 高山よいとこのこし隊			
事業名	2-3大早津石灰窯活用事業			
内容	<p>【意図・目的】 高山地区の、かつて石灰産業で栄えた頃の石灰窯などを活用して、石灰の製造工程を伝えたり、灰屋いも等の石灰を使った調理法を伝承していく。</p> <p>【手段・方法】 ・既存のお天守(おてんす)を活用して石灰の製造工程を再現し、灰屋いもや塩釜焼きでの料理の実演を行ってみる。また、貯蔵庫などでの活用も試してみる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
実施目標年度	平成25年度～			
摘要	・実演即売の方法			



高山夢ビジョン 実施計画書

様式

部会名	産業・建設・観光	テーマ	作る	大きく広げよう住民協力隊
推進項目	3. 高山よいとこ季て味てもらい隊			
事業名	3-1高山マップの作成事業			
内容	<p>【意図・目的】 地区の歴史ある名所や観光スポットなど地域のことが一目でわかるマップ作りを行い活用する。</p> <p>【手段・方法】 高山の観光マップを作成し、地域の方が高山案内人として、地域外の方に高山を説明できるような態勢づくりをおこなう。</p>			
実施目標年度	平成24年度～			
摘要				



高山夢ビジョン 実施計画書

様式

部会名	産業・建設・観光	テーマ	作る	大きく広げよう住民協力隊
推進項目	3. 高山よいとこ季て味てもらい隊			
事業名	3-2高山郷土料理発信事業			
内容	<p>【意図・目的】 地区の郷土料理を広く全国に発信し、都市との地域間交流を図る。</p> <p>【手段・方法】 インターネットで郷土料理の発信を行い、。ちりめん丼やみそやき等の地域で味わえる料理を売り出す</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>			
実施目標年度	平成23年度～			
摘要	・郷土料理の選定 ・売り出し方 ・みそやきの食べれるところ			

高山夢ビジョン 実施計画書

様式

部会名	産業・建設・観光	テーマ	作る	大きく広げよう住民協力隊
推進項目	3. 高山よいとこ季て味てもらい隊			
事業名	3-3歩道整備事業			
内容	<p>【意図・目的】 大早津から見える絶景な夕日を眺めながらウォーキングが楽しめる海岸沿いの歩道整備を行い、地域住民の健康増進と環境美化の推進を図る。</p> <p>【手段・方法】 関係機関と連携して、道路改良時に歩道整備を進めていく。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>			
実施目標年度	平成26年度～			
摘要				

高山夢ビジョン 実施計画書

様式

部会名	産業・建設・観光	テーマ	作る	大きく広げよう住民協力隊
推進項目	3. 高山よいとこ季て味てもらい隊			
事業名	3-4夕日の美える田舎リゾート体験事業			
内容	<p>【意図・目的】 高山の美しいリアス式海岸部での田舎体験をしてもらうことにより、都市との地域間交流を図り、ここでの生活の価値観を実感してもらう。また、この生活スタイルに興味があれば定住を促進していく。 現在、地区で増加している空き家について有効活用できるものがあれば、改修の手助けを行い希望者に貸して田舎体験を通して、この地区の人情味など良さを実感してもらいたい。</p> <p>【手段・方法】 あけはまシーサイドサンパーク(株)と連携して、期間限定でオフシーズンを利用して田舎体験してもらうための企画をする。 (例)1~3ヶ月プランでのキャンパ1棟賃貸など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シーズンオフの料金設定 ・滞在期間が11月~2月の場合は、みかん収穫の手伝いや耕作放棄地を利用して野菜栽培などの体験をする。 ・磯釣り体験 ・秋祭りに参加する帰省者プランなど ・短期・長期の滞在メニューを企画する。 			
実施目標年度	平成25年度~			
摘要	<ul style="list-style-type: none"> ・大家との打合せ・空き家の管理方法 ・地域の受入の態勢 ・農業体験での保険の加入 			

